

## 「社会起業」とは？

大ナゴヤ大学は、愛知県を中心に東海3県とその周辺におけるさまざまな課題や活動を、初心者編・初級者編の「授業」という切り口で取り上げ、学ぶ場を作っています。授業はその活動を紹介する「メディア」であり、さらに良いものにすることを目指し参加者全員で「考える場」でもあります。また、その後の交流へ「つながる場」としての機能も果たしています。

「授業を機にボランティア参加するようになった」  
 「活動自体を知らなかった。家族・友人を連れて参加します」など、社会活動への参加のきっかけが生まれ、知り合った団体・活動

## 他の市民団体・社会実験等とのコラボレーション

いくつも目の当たりにしてきました。

現在は名古屋市とその周辺での開催にとどまっていますが、各地の団体・市民活動・防犯活動、名古屋おもてまちづくり関連の活動など、分野での情報共有なども徐々に進み始めています。

イベント開催前のプレ参加企画では、実行委員として活動する方に先生になっていただき、背景や思いに大学による社会実体験、お店や商店街のイベントとの共同活動など、経験してきま

# 活動のプラットフォーム

## 地域コミュニティ再生

の有機的。たとえば、ナゴヤ・テ果も生まれています。昨年3月に行った開校前スタートのトリエンナーレ・プレワークショップの折、参加例を、イベント、名チャリ、カーした中学生の女の子から、フリーデー、ごみゼロ運動、「大ナゴヤ大学って何だ

ろっ？」と考え始めた時点で、共に清掃活動に取り組んだ衣料ショップの店長さんが「スニーカーの授業ならできるよ」と興味を持ってくださり、趣味や仕事の領域を超えて「スニーカーへの愛」を語っていた。身近には意義ある社会活動、イベントにも関わらず、まだまだ知られていない、参加者の少ない活動がたく



活動を通じて横のつながりも生まれた。少し深く参加してみよう。え、自分の街を好きになる人が増えていく。そのよう

【NPO法人 大ナゴヤユニバーシティ・ネットワーク学長・理事長 加藤 藤慎康】

